

コンロ・グリル掛け忘れ

に起因する火災・事故の現況調査

枚方寝屋川消防組合消防本部

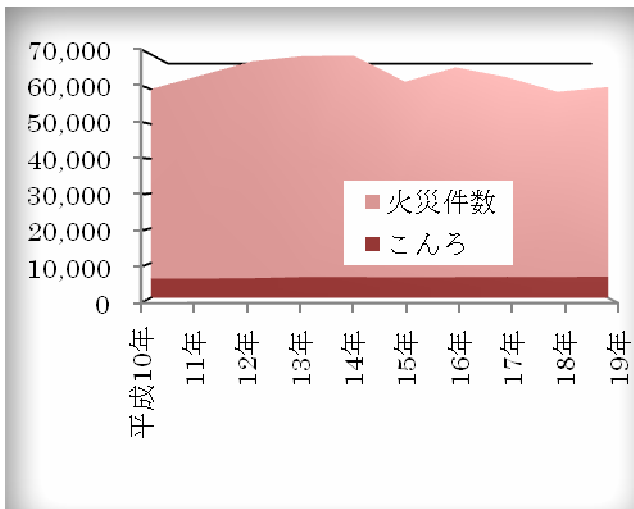
警防部 警防課 調査担当

はじめに

平成19年中の全国で発生した火災は54,582件でした。このうち「コンロ」に起因する火災が、6,080件で全火災の11.1%を占め、出火原因別で見ますとワースト2にランクされています。

ここ10年の全国で発生した火災を見ますと例年、約1割が「コンロ」に起因する火災となっています。

	こんろ	火災件数	割合
平成10年	5,539	54,514	10.1%
11年	5,530	58,526	9.4%
12年	5,636	62,454	9.0%
13年	5,962	63,591	9.4%
14年	5,958	63,651	9.4%
15年	5,850	56,333	10.4%
16年	5,936	60,387	9.8%
17年	6,026	57,460	10.5%
18年	5,990	53,276	11.2%
19年	6,080	54,582	11.1%



この「コンロ」による火災のうち、経過別出火件数を見ると、67.0%にあたる4,073件が消し忘れによる火災でした。（平成20年版消防白書より）

当消防本部管内でも、高度成長期を迎えた昭和50年代初頭から、人口の増加とともに「こんろ」に起因する火災が増加し始め、平

成19年では全火災の15.7%となっており、全国の傾向と同じように、減少の兆しが見えません。

そこで「コンロ」に起因する火災のうち、大半を占めるコンロ・グリル掛け忘れに起因する火災及び焼損事故（当消防本部では、焼損が見られ、火災の三要素の一つ以上が欠けている火災に至らない事故を焼損事故と位置づけています。）を対象に、平成20年の一年間、重点調査項目を設け下記のような目的で調査活動を展開しました。

- ・何らかの傾向が見えないものか
- ・減少に繋がるものはないのか

（別紙「コンロ・グリル掛け忘れチェックシート」参照）

調査結果

平成20年中の火災（280件）・焼損事故（71件）351件中、コンロ・グリル掛け忘れに起因するもの34件について調査結果をまとめました。（別紙「コンロ・グリル掛け忘れ集計表」参照）

発生日時等

発生日時を見ますと6月が8件となっており他の月より突出しています。発生曜日を見ますと月曜日、水曜日、土曜日がそれぞれ6件となっており、最小は火曜日、日曜日の3件でした。発生時間帯を見ますと19時台、20時台がそれぞれ5件となっており、深夜1時台が3件となっています。全体を見ると11～13時台の昼間帯で7件、16～20時の夕・夜間帯で17件となっており、早朝の7～9時台は2件となっています。

これらを見ますと、発生曜日に関しては、あまり大きな違いは無いと思われませんが、発生時間帯はコンロをよく使用する夕食時間帯で多く見られ、また、夜食時間帯でも多く発生していることが分かりました。

焼損程度等

コンロ・グリル掛け忘れが原因で発生した事故の焼損程度を見ますと全焼・半焼は0件、部分焼は3件、ぼやは16件、焼損事故（火災に至らないもの）は15件となっています。類焼は34件中部分焼の3件で発生しています。

これらを見ますと、コンロ・グリル掛け忘

すれが原因で発生する火災（事故）は比較的延焼拡大に繋がっていないことが分かりました。

器具について

器具の形状は都市ガス・固定が13台、都市ガス・移動が17台、LPG・固定が1台、電気・固定が3台となっています。器具タイプはガスコンロが4台、ガステーブルが13台、ビルトインタイプが14台、電気コンロが3台となっています。五徳の数は2口が23台で最も多く、3口が6台、1口が5台となっています。

これを見ますと、近年の住宅状況によりビルトインタイプの大型で固定型のもが増えています。メーカーはガスコンロを主体として大メーカーが依然高いシェアを維持しています。五徳は現在、普及タイプの2口タイプが主流ですが、3口タイプのものも増えてきています。また、1口タイプも完全に無くならないことかから単身者の世帯が増えている状況であると思われま。

出火五徳・グリルについて

火災・事故が発生した箇所を見ると、グリルが7件、五徳（大）が18件、五徳（単口）が5件、五徳（中）が4件となっています。

グリルのタイプは、排気ダクト式で水を入れないものが2件、排気式で水を入れるものが3件と、水を入れないものが2件でした。

また、グリルの清掃状況は7件中6件で悪い状況でした。過熱防止装置は、34件の火災・事故の内15件のものに設置されています。また、グリルの掛け忘れを除く11件の火災・事故を見ると、7件が過熱防止装置を認知していませんでした。更に、回答があった13件の過熱防止装置有りのもので、使用しなかった理由は、認知していなかったが8件、位置的に使いづらかったが2件、以下、天ぷら専用と誤って思っていた、火力が小さかった、手前なので子供が触ると危険などでした。購入時の取扱説明書の確認状況は、確認しなかった（6件）と、確認したが忘れた（2件）が、合わせて8件と大半を占めています。

これを見ますと、過熱防止装置付きの器具が増えてきているのが分かりますが、使用者側が認知していないケースが多いことと、グリルについては、清掃等の管理が悪いことが分かりました。

調理の目的等

鍋の種類は、両手鍋が9件、片手鍋が7件、揚げ物用の（両手鍋）が4件と片手鍋が1件、以下、卵焼き器、ポットが2件、グリルが7件となっています。調理の目的は、夕食準備が18件、夜食準備が3件、昼食準備が2件、以下、朝食準備等となっています。調理のメニューは、煮物が9件、焼魚（グリル）が6件、フライが3件、唐揚げ及び、凝固処理が2件と続いています。鍋・グリルの内容物は、食用油が10件で最も多く、次いで、魚介類が8件、肉類が5件、野菜類が3件と続いています。

これらを見ると、グリル以外の火災・事故ではフライパンよりも鍋で多く発生し、コンロを使用する状況が多い夕食の準備が大半を占めていることがわかります。また、調理のメニューでは、煮物とグリルでの焼魚が上位を占めており、そのうちのグリルでは、前記のように清掃状況も原因にひとつと思われる。また、調理後の凝固処理から発生する火災・事故は大事故に繋がる要因のひとつ。

行為者状況等

34件中、行為者の性別は、女性が24人、男性が10人です。年齢は、60代が最も多く11人で、20代が6人、30代が4人、70代・80代も2人ありました。職業は、主婦と無職が10人、会社員が8人で上位を占めています。行為者世帯の人数は、1名が最も多く16件で、次いで2人が12件、4人が4件、3人が2件でした。身体障害の有無は、全てが無でしたが、精神障害は2人で、飲酒は4人が有でした。

これらを見ると、コンロを使用するのは女性とは限らないことと、高齢化及び少世帯化が進んでいることなどが見えてきました。

行為者の行動状況等

調理中の火加減は、大が最も多く20件中、中・とろ火が5件、小が3件でした。コンロ・グリルから離れた理由は、忘れてしまったが最も多く14件、次いでテレビ・勘違いが3件で、子供の世話・他の調理が2件でした。火災・事故に気付いた理由で最も多いのは、煙で9件で、人の声（5件）、臭気（4件）と続いています。気付いてからの行動では、消火をしたが20件、次いで消防に通報した4件でした。また、初期消火は23件で行われ、初期消火された火災は全て消火に成功されています。初期消火器具は、器具コックを操作するが9件で、水道水が5件、消火器・濡れタオル・寝具及び座蒲団が2件でした。更に、火災・事故34件中、4名が負傷しており、全てが煙を吸う等の軽傷でした。

住宅用火災警報器は、34件中7件が設置されており、その内訳は、寝室・台所設置が3件、全室設置が2件、台所のみ設置と児童火災報知設備が1件でした。また、過去の火災履歴に該当するのが2件でした。

これを見ますと、コンロ・グリルによる火災・事故は比較的、発見が早く、初期消火が有効に行われている事がわかりましたが、その反面、殆どの火災・事故は、使用者側の問題（忘れる・考え違い等）により発生していることがわかりました。



《コンロ・グリル掛け忘れ》チェックシート

出火日時 平成20年 月 日 曜日 時 分頃
火元の焼損程度 類焼の有無 出火室
焼損床面積 m² 焼損表面積 m²

器具の形状 器具のタイプ
販売会社 製造会社
型式(型番) 年式 年 五徳の口数
出火五徳・グリル 過熱防止装置の有無

鍋の種類 鍋の大きさ 直径 cm 鍋の深さ cm
調理の目的 調理のメニュー 鍋・グリルの内容物
油の名称(揚物の場合) 油の量(揚物の場合) cc、又は鍋の 分目

※ グリルの掛け忘れの場合

グリルのタイプ
グリルの清掃状況

※ 過熱防止装置が有る場合

過熱防止装置の認知 過熱防止装置の使用状況
過熱防止装置使用無しの理由
過熱防止装置使用有りて出火した理由
コンロ・ガステーブル等の購入時に取扱い説明書を確認したか

行為者の性別 行為者の年齢 才 行為者の職業
身体の障害 精神の障害 飲酒の有無
調理中の火かけん コンロ・グリルから離れた理由
コンロ・グリルから離れた時間 分ぐらい
火災に気づいた理由
気づいてからの行動 気づいたときの炎の高さ 鍋から 約 cm
行為者の初期消火の実施 初期消火器具
初期消火の成否 住宅用火災警報器の設置の有無
過去の火災・事故履歴

死傷程度 死傷者の性別 死傷者の年齢 才
死傷者区分
死傷の原因 主な死傷内容
身体の障害 精神の障害 飲酒の有無

死傷者が複数の場合は、58行～66行をコピーしてください。

コンロ・グリル掛け忘れ 集計表 (34件)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	4	2	2	3	3	8	1	3	1	3	2	2	34

曜日別	月	火	水	木	金	土	日	計
	6	3	6	5	5	6	3	34

時間帯	1時～	2時～	7時～	9時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～	18時～	19時～	20時～	21時～	23時～	計
	3	1	1	1	3	1	3	1	1	2	2	3	5	5	1	1	34

焼損程度	焼損事故	ぼや	部分焼	計
	15	16	3	34

類焼の有無	有	無	計
	3	31	34

器具の形状	都市G・固定	都市G・移動	LPG・固定	電気・固定	計
	13	17	1	3	34

器具のタイプ	ガスコンロ	ガステーブル	ビルインタイプ	電気コンロ	計
	4	13	14	3	34

製造会社	ASNK 三化工業	大阪ガス	タカラ	松下電工	ハーマン	パロマ	日立	リンナイ	不明	合計
	1	3	2	3	1	4	2	14	4	34

五徳数	1口	2口	3口	計
	5	23	6	34

出火五徳・グリル	グリル	五徳(小)	五徳(中)	五徳(大)	五徳(単口)	計	※ 2口は、大・小でカウント 3口以上は、大・中・小でカウント
	7	0	4	18	5	34	

→グリルのタイプ

排気ダクト式	排気式		計
水を入れないタイプ	水を入れるタイプ	水を入れないタイプ	
2	3	2	7

→グリルの清掃状況

良好	悪い	計
1	6	7

過熱防止装置有無	有	無	計
	15	19	34

→有のうちグリルの掛け忘れを除く11件中の過熱防止装置の認知

認知していた	認知なし	計
4	7	11

→有のうち回答のあった13件中の過熱防止装置使用無しの理由

認知していなかった	8
位置的に使いづらかった	2
天ぷら専用と誤っていた	1
火力が小さかったから	1
手前なので子供が触ると危険	1
計	13

購入時の取扱説明書の確認(回答11例中)

確認した	3
しなかった	6
確認したが忘れた	2
計	11

鍋の種類

片手鍋	7
片手鍋(揚物専用)	1
両手鍋	9
両手(揚物専用)	4
フライパン	1
卵焼き器	2
ボール	1
ポット	2
グリル	7
計	34

調理の目的

朝食準備	1
昼食準備	2
夕食準備	18
夜食準備	3
煮沸消毒	1
おせち料理	1
習慣で誤ってスイッチを操作	1
つけた意識なし	1
調理外目的	6
計	34

調理のメニュー

揚げ餃子	1
お湯を沸かす	1
唐揚げ	2
天ぷら	1
煮豚	1
煮物	9
ビーフシチュー	1
豚汁	1
味噌汁	1
フライ	3
焼魚(グリル)	6
凝固処理	2
その他	5
計	34

鍋・グリルの内容物

食用油	魚介類	肉類	豚汁	野菜類	水	小豆	その他	計
10	8	5	1	3	2	1	4	34

行為者性別

男	女	計
10	24	34

行為者年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
3	6	4	3	3	11	2	2	34

行為者の職業

主婦	無職	会社員	生徒	フリーター	アルバイト	サービス業	その他	計
10	10	8	1	1	1	1	2	34

行為者の身体障害

有	無	計
0	34	34

行為者の世帯

1世帯1名	16
1世帯2名	12
1世帯3名	2
1世帯4名	4
計	34

行為者の精神障害

有	無	不明	計
2	31	1	34

行為者の飲酒の有無

有	無	計
4	30	34

調理中の火加減

大	中	小	とろ火	不明	計
20	5	3	5	1	34

コンロ・グリルから離れた理由

子供の世話	2
食事をしていた	1
テレビを見ていた	3
寝てしまった	2
勉強	1
他の調理	2
油温の上昇を待つ	1
パトロールのため外	1
隣の部屋にいた	1
忘れてしまった	14
飲酒	1
勘違い	3
その他	2
計	34

火災・事故に気づいた理由

外出したため気付か	1
煙	9
臭気	4
熱気	1
人の声	5
炎	7
火災報知機等鳴動	1
本人気付かず消防により救	1
その他	5
計	34

行為者の気づいてからの行動

消火した	20
消防に通報した	4
他の者に知らせた	2
本人気付かず	1
何も出来なかった	2
その他	5
計	34

初期消火の有無

有	23
無	11
計	34

初期消火の奏功

成功	23
失敗	0
消火無	11
計	34

初期消火器具

器具コックを操作する	9
寝具及び座蒲団	2
水道水	5
鍋の蓋を被せる	1
濡れタオル	2
粉末消火器	2
元コックを操作する	1
浴槽の水	1
初期消火なし	11
計	34

34件中の死傷者4名の状況

	死傷程度	性別	年齢	死傷経過	死傷内容
1	軽症	女	35	煙を吸う	喉鼻の違和感
2	重症	男	56	煙を吸う	一酸化炭素中毒
3	軽症	女	64	高温物接触	第二度熱傷
4	軽症	女	34	高温物接触	第一度熱傷

住宅用火災警報器の設置の有無

有	7
無	27
計	34

有の内訳

自動火災報知設備	1
全室設置	2
寝室・台所設置	3
台所のみ設置	1
計	7

過去の火災履歴

有	2
無	32
計	34